

区分	日時	科目	目的	内容	時間数		
講義 10時間	1月31日 (日)	9:00～ 9:30	開講式	正しく学習するために 受講の流れを理解する	研修の進め方・受講に関する注意点・テキスト配布	0.5	
		9:30～ 12:00	強度行動障害が ある者の基本理解 に関する講義	強度行動障害について理解し、 医療との連携について学ぶ	強度行動障害とは 強度行動障害の定義 強度行動障害支援の歴史的な流れ 知的障害／自閉症／精神障害 とは 行動障害と家族の生活と理解 危機管理・緊急時の対応	2.5	
				強度行動障害と医療 強度行動障害と精神科の診断 強度行動障害と医療的アプローチ 福祉と医療の連携			
		12:30～ 16:00	強度行動障害に 関する制度及び 支援技術の基礎 的な知識に関する 講義	強度行動障害をめぐる 制度について理解する。 障害特性を理解した適切な 支援についての基本的な知識、 PDCA(構造化、記録と再計画)、 支援手順書について理解する。	強度行動障害と制度 自立支援給付と行動障害 / 他 (例) 支援区分と行動関連項目・重度訪問介護 対象拡大・発達障害者支援体制整備・強度行動 障害支援者養成研修	3.5	
				構造化 構造化の考え方 構造化の基本と手法 構造化に基づく支援のアイデア			
				支援の基本的な 枠組みと記録 支援の基本的な枠組み 支援の基本的なプロセス アセスメント票と支援の手順書の理解 記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ			
			虐待防止と身体拘束 虐待防止法と身体拘束について 強度行動障害と虐待				
		16:00～ 18:00	強度行動障害の ある者へのチーム 支援	チーム支援についての 理解を深める。	強度行動障害支援 の原則 チームによる支援の重要性 支援の6つの原則 地域で強度行動障害の人を支える	2	
	演習 14時間	2月 7日 (日)	9:00～ 11:00	強度行動障害と 生活の組み立て	生活の様々な場面での 支援について学ぶ	行動障害のある人の 生活と支援の実際 行動障害のある人の家族の想い 日中活動場面における支援 夕方から朝にかけての支援 外出場面における支援	2
			11:00～ 13:30	行動障害がある者 の固有の コミュニケーション の理解	強度行動障害者支援の重要性の 理解と固有の障害特性に 関する知識を深める。 行動の背景を考える。	固有の コミュニケーション 情報の入手とその方法 記録のまとめ方と情報共有 様々なコミュニケーション方法	2.5
14:00～ 15:00			基本的な情報収集 と記録等の共有	情報収集とチーム プレイの基本 コミュニケーションの理解と表出 グループ討議 / まとめ		1	
15:00～ 17:30		行動障害の背景に ある特性の理解	行動障害の背景に あるもの 感覚・知覚の特異性と障害特性 行動障害を理解する氷山モデル	2.5			
2月14日 (日)		9:00～ 10:00	記録に基づく支援 の評価	・障害特性に配慮した 支援計画の立案 ・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達 ・記録の方法 ・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ	記録の収集と分析 行動の記録の方法 記録の整理と分析 再アセスメントと手順書の修正	1	
		10:00～ 12:30	障害特性の理解と アセスメント		障害特性の アセスメント 障害特性の理解 障害特性に基づくアセスメント 行動の意味を理解する	2.5	
		13:00～ 14:00	危機対応と 虐待防止	危機対応と虐待防止について 理解を深める	危機対応と虐待防止 危機対応の方法 虐待防止と身体拘束	1	
		14:00～ 17:30	環境調整による 強度行動障害の支 援	・障害特性に配慮した 支援計画の立案 ・支援の手順書の作成、 支援者への適切な伝達 ・記録の方法 ・支援の手順書の修正 等について実際の 演習を通じて学ぶ	構造化の 考え方と方法 強みや好みを活かす視点 構造化の考え方 構造化の方法	3.5	
		17:30～ 18:00	閉講式	研修を振り返り、 学習内容を再確認する	研修のまとめ・修了証書授与	0.5	
					25		